

別表（第4条関係） 優先度判定 評価表

項目	細項目	判定	内訳
必要性	道路の有効幅員	2	2.5m未満。道路の有効幅員が狭く、安全性を改善する必要がある。
		1	4m未満。道路の有効幅員が中程度で、生活道路として多少不便は感じるが、普段の生活に大きな支障がない。
		0	4m以上。道路の有効幅員が広く、概ね安全な通行が保たれている。
	道路舗装状況	2	未舗装である。
		1	一部区間が未舗装である。
		0	舗装済みである。
	道路の見通し(視距)	2	見通しが特に悪く危険である。
		1	見通しは悪いが、安全に通行できる。
		0	見通しは普通で、安全な通行が保たれている。
	住居の接道状況(別荘、車庫等除く)	2	住居が5軒以上接道している。
		1	住居が2軒以上接道している。
		0	住居がない。
	行き止まりの状況	2	行き止り路線である。
		1	起終点とも道路に接続しているが、片方が未舗装道路である。
		0	起終点とも舗装道路に接続している。
利用度	車両の交通量	2	交通量が比較的多い。(沿線住民及び沿線土地利用者以外の通行もある。)
		1	交通量が中程度である。(沿線住民及び沿線土地利用者の通行が主である。)
		0	交通量が少ない。(沿線土地利用者(農作業等)の通行が主である。)
	歩行者・自転車の交通量	2	通行量が比較的多い。(沿線住民及び沿線土地利用者以外の通行もある。)
		1	通行量は中程度である。(沿線住民及び沿線土地利用者の通行が主である。)
		0	通行量は少ない。(沿線土地利用者(農作業等)の通行が主である。)
	バス、ゴミ収集車、デイサービス車路線	2	2つ以上該当がある。
		1	1つ以上該当がある。
		0	いずれも該当がない。

項目	細項目	判定	内訳
緊急性	関連事業等の有無	2	関連する事業との調整により早急な整備が必要である。
		1	—
		0	関連事業等がない。
	気象条件等による影響	2	気象条件等により通行に支障をきたしている。
		1	—
		0	特に影響がない。
同意確認等	土地所有者からの同意確認	2	土地所有者からの同意が全員確認できる。
		1	—
		0	土地所有者からの同意が全員確認できない。(所有者不明土地含む)
	用地買収	2	工事を施工する際に、地権者全員が無償譲渡に応じている。
		1	工事を施工する際に、地権者の一部が無償譲渡に応じている。
		0	工事を施工する際に、事業費による用地買収が必要である。

ランク		
A	12 以上	優先度が高い
B	7~11	優先度が中位である
C	6 以下	優先度が低い